

新入社員が学ぶ施工管理コースの決定版！

PC、スマホ、タブレットでいつでも学習可能！

Q

品質

C

原価

D

工程

S

安全

建設業若手技術者 スキルアップシリーズ

「施工管理基本コース」

CPDS及び
建設系CPD
認定

- 各コースCPDSの2ユニット及び建設CPDの2単位を取得できます。
- 1年間は何度でも繰り返し学習が可能！
- 受講者一人ひとりの学習進捗状況やテスト結果を確認できます。
- この後も、「建設業新入社員コース」、「現場代理人基本コース」、「業法コース」など新しいコンテンツを追加予定！

Q

品質管理の基本コース

受講時間:100分

終了テスト:20問

- 建設現場の管理について (QCDSE、PDCA、現場代理人の役割)
- 品質管理の基本 (品質とは、顧客満足と高い品質、価値、機能、QC手法)
- 品質管理の手法 (品質管理の目的、効果、対象、検査手法、写真管理)
- 重要工程の品質管理 (鉄筋工事、型枠工事、コンクリート工事)
- 品質マネジメントシステム (ISO9001とは、目的、品質システムの規格)



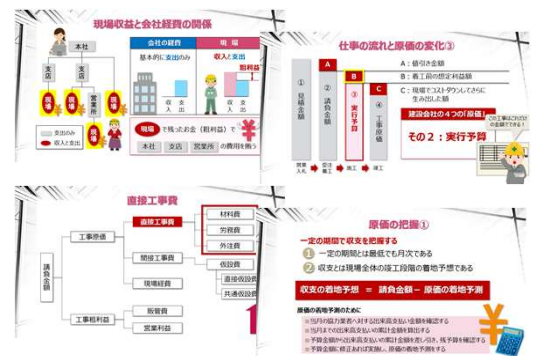
C

原価管理の基本コース

受講時間: 118分

終了テスト:20問

- 建設現場の管理について (QCDSE、PDCA、現場代理人の役割)
- 原価管理の基本 (収益構造、建設業の原価、原価管理の目的、工事原価の内訳)
- 原価管理と工程管理 (原価と工程の関係、人工・歩掛り、工期短縮のメリット・デメリット)
- 実行予算作成の基礎 (実行予算の目的、着眼点、金額計算の仕方)
- 現場で行う原価管理 (日々の原価の把握、原価削減の方法、予実管理)



※本教材はロゴスウェア社製ツールによって音声合成されたもので、弊社コンサルタントが画面上で解説しているものではありません。

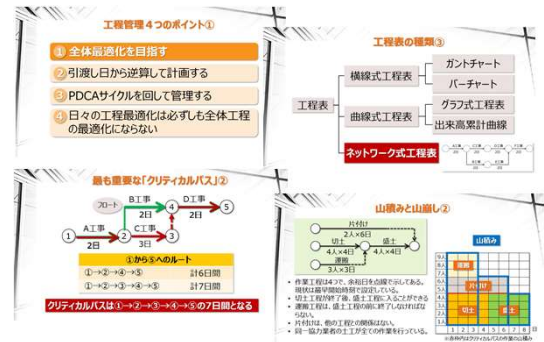
D

工程管理の基本コース

受講時間: 108分

終了テスト:20問

- 建設現場の管理について
(QCDSE、PDCA、現場代理人の役割)
- 工程管理の基本
(工程管理の目的、位置づけ、ポイント、内容、必要スキル)
- 工程管理図表
(工程管理図表の目的、種類、特徴、使い方、バーチャート、ネットワーク)
- ネットワーク工程表
(ネットワーク工程表の利点、用語、基本ルール、クリティカルパス)
- 工程管理と原価管理
(工程と原価の関係、歩掛り、山積み、山崩し)



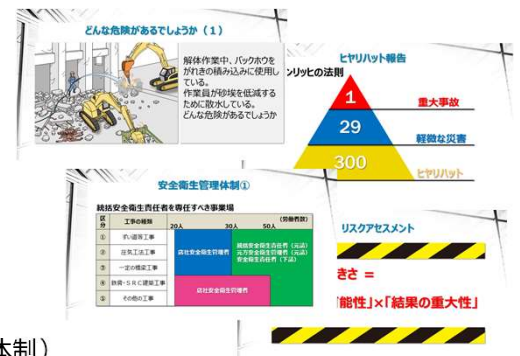
S

安全管理の基本コース

受講時間: 116分

終了テスト:20問

- 建設現場の管理について
(QCDSE、PDCA、現場代理人の役割)
- 労働災害に関するデータ
(建設業における労働災害の発生状況)
- 労働災害はなぜ発生するか
(不安全状態、不安全行動、建設業の特性、企業の責任、労働災害論)
- 労働災害を起こさないために
(安全施工サイクル、5S活動、KY活動、リスクアセスメント、
ヒューマンエラー、ヒヤリハット)
- 労働安全衛生法、労働安全衛生規則の理解
(安全書類、事業者等の定義、安全対策、災害防止義務、安全衛生管理体制)



申込み及びお問い合わせ先等

【対象者】

会員企業の若手技術者

【受講期間】

21年6月1日(火)～22年3月31日(木)

【受講料金】

1人1コース: 2,200円(税込み) ※受講料は申込受付後に別途請求書を送付

【申込方法】

専用申込フォームに入力のうえ、kaiin@hirokenkyo.or.jp まで送信してください。
専用申込フォーム(エクセルファイル)はメールで送信いたしますので、上記アドレスへご連絡ください。

【定員】

各コース 100名程度

【お問い合わせ先】

一般社団法人広島県建設工業協会

☎ 082-511-1430

協力: (株)日本コンサルタントグループ